

令和7年度(2025年度)市立豊中病院運営計画 中間見直し(概要版)

中間見直しの趣旨

市立豊中病院運営計画(令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度))について、これまでの進捗状況の検証に加え、近年の物価高騰・人件費の増加等の社会情勢の変化や新たな課題を踏まえ、残る計画期間においても引き続き地域の中核病院として、必要とされる急性期・専門的医療を提供する役割を果たすとともに、持続可能な病院経営を今後も継続していくため、中間見直しとして作成したものです。

令和5年度～現在までの主な取組みと成果

I. 急性期医療を中心とした医療機能の充実

- 消防局救急救命士の院内配置
- 土曜日手術開始
- 通常時間帯の手術運用効率化等実施

2. 地域連携の推進

- 患者総合支援部及び患者支援室の設置
- 「救急連携搬送(下り搬送)」の試行実施

3. 医療の安全と患者サービスの向上

- インシデント報告による医療の透明性確保
- 全入院患者を対象とした入院前支援の実施、多職種連携による患者・家族の不安に寄り添う体制構築と早期の課題把握

4. 安定した経営基盤の確立

- 長時間労働を行う医師への面談実施体制の拡充
- SPD(病院内物流管理業務)導入に向けた準備と整備

今後の課題

- 急性期病院としての機能をより適切に発揮するための疾患構成転換と緊急症例対応
- 重症・緊急症例の迅速かつ確実な受入れに向けた救急医療スペース拡充と体制の強化
- 満床時の受入れ困難解消に向けた、軽症・症状安定患者の他院入院促進、転院先との連携強化、地域内での役割分担徹底
- がん手術などの比率向上のための、地域医療機関からの効果的な紹介・集患
- 医療事故等への的確な初期対応のための体制の充実と継続的な対応力向上
- 年末年始のインフルエンザ患者急増による外来待ち時間長期化と医療提供体制への影響
- こどもなど支援が必要なケースについて関係機関との連携体制強化
- 医師・看護師などの確保と定着に向けた職場環境の整備と貢献に応じた適切なインセンティブの付与
- 費用増により赤字幅が拡大する中、安定的な運営継続に向けた収支の均衡

今後の主な取組み

- DPC特定病院群へのステージアップに向けた医療の質向上等の取組み
- 手術件数の増加に向けた運用整備などの取組み
- 外来業務の見直し
- 救急スペースの拡張による救急患者受入れ体制の強化・スペースのさらなる有効活用
- 速やかな転院・退院に向けた支援の強化
- 集患強化と症状が安定した患者さんの地域の医療機関への引き継ぎ(逆紹介)の徹底
- 入退院支援のさらなる充実
- 児童相談所など関係機関との連携体制強化
- 医療DXの導入(オンライン診療)
- 柔軟な勤務体制の活用
- 院内表彰制度の拡充及び看護師の職級見直しに向けた調整
- 疾患構成の転換による診療単価の向上
- 費用管理の徹底
- 医療DXによる業務効率化

中間見直しによる今後の施策展開について

施策展開の重点方針

I. DPC特定病院群をめざす

- 緊急症例への対応強化、小児周産期医療の充実、がん診療はじめ高度専門医療の充実強化を核に、疾患構成を転換しつつ医療面の充実強化をはかります。
- 医療提供の内容においてステージアップし、地域に不可欠な急性期病院として市民・地域医療機関等からの信頼を搖るぎないものとします。

II. 経営戦略に基づく変革の加速化・強化

- 資源投入の選択と集中、役割の明確化とポジションの確立、組織学習の向上等、医療面の充実強化に連動した経営戦略を推進します。
- 変革の加速化・強化により、医療の向上～経営向上の好循環への到達をめざします。

重点方針と取組みのイメージ

